

# 令和8年度第1回どっぷり高知旅キャンペーン推進委員会 議事概要

日時：令和8年6月15日（月）13:30～14:45

場所：三翠園 1階 富士の間

## 《配布資料》

委員出欠表

配席図

委員等名簿 新旧対照表

## 【報告事項】

資料1-1 令和7年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の実績(誘致・広報)

資料1-2 令和7年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の実績(受入①)

資料1-3 令和7年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の実績(受入②)

資料1-4 県内で実施する特別感のあるイベント等

資料2 令和7年度予算の流用について

## 【議決事項】

資料3-1 令和7年度事業報告(案)

資料3-2 令和7年度収支報告(案)

資料3-3 監査報告書

## 【協議事項】

資料4 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主なスケジュール

資料5-1 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主な取組(誘致・広報)

資料5-2 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主な取組(受入①)

資料5-3 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主な取組(受入②)

参考資料1 令和7年度第3回推進委員会でいただいたご意見及び対応

## 1 開会

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐

挨拶：高知県観光振興スポーツ部 小西部長

## 2 委員の交代について

説明：高知県観光政策課 中橋課長補佐

資料：委員等名簿 新旧対照表

## 3 報告事項

### (1) 令和7年度の取組

進行：高知県観光振興スポーツ部 小西部長

説明：高知県観光政策課 矢野課長

資料：資料1-1 令和7年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の実績(誘致・広報)

資料1-2 令和7年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の実績(受入①)

資料1-3 令和7年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の実績(受入②)

資料1-4 県内で実施する特別感のあるイベント等

### (2) 令和7年度予算の流用について

説明：高知県観光政策課 矢野課長

資料：資料2 令和7年度予算の流用について

## 4 議決事項

### (1) 第1号議案

#### 令和7年度事業報告(案)及び収支報告(案)について

説明：高知県観光政策課 矢野課長

資料：資料3-1 令和7年度事業報告(案)

資料3-2 令和7年度収支報告(案)

資料3-3 監査報告書

### 第1号議案について委員全員の同意をもって承認

## 5 協議事項

### (1) 令和8年度の取組

説明：高知県観光政策課 矢野課長

資料：資料4 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主なスケジュール

資料5-1 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主な取組(誘致・広報)

資料5-2 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主な取組(受入①)

資料5-3 令和8年度「どっぷり高知旅キャンペーン」の主な取組(受入②)

## 質疑応答

### 【発言】上村委員

- ・ 「食を生かした取組」については、柑橘であれば朝食のみ提供する施設でもジュースとして出せるなど、宿泊施設が共通で同じ食材を扱いやすいといった協議をしてきた。
- ・ 今年度のポイントはよさこい高知文化祭。高知に興味がなかった人も含めて「高知はいいね」と思わせることが必要。宿泊業界が一丸となってファン増加に向けて取り組みたい。

### 【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長

- ・ よさこい高知文化祭で高知に来られる方にも、深く高知の魅力を発信し、どっぷり高知旅キャンペーンで造成した商品をしっかりとお届けしたい。そのために「食」の魅力は重要。お客さまの心をつかむことができるように、引き続き御協力いただきたい。

### 【発言】高村委員

- ・ 先日飲食店で、観光客にオススメ情報を聞かれる機会があった。伝え始めたらあっという間に時間が過ぎるほど、高知にはオススメしたい情報がある。しっかり事前にリサーチをして旅行をする方ばかりではない。地元の方との交流を楽しみにしている方もいらっしゃる。自然とお節介をやくことができる高知県民の気質なども、キャンペーンの取組の中で生かせたら良いと思う。

### 【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長

- ・ 県民性も「どっぷり高知旅」の魅力となる要素。WEBでのファンサイト構築はそのような良さを表現できればと考えている。

### 【発言】庵原委員

- ・ 今年度もどっぷり体験商品の造成において、魅力的な商品が増えることが楽しみ。よさこい高知文化祭との連動にも期待している。

### 【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長

- ・ 商品造成については、高知県観光の底力をつけていくためにも続けていかなければならない。お客様がどこを魅力とを感じるのか想像しながら取り組みたい。おもてなしの機運醸成や、ガイドのみなさまのご活躍など、さまざまな面で魅力向上につなげたい。

**【発言】 森岡委員**

- ・ 今年度はガイド研修会を7月に1回、体験会を3回予定している。令和6年度と7年度に実施した体験会は、残念ながらその後の会員増にはつながっていない。しかし、昨年度に開催した物部川エリアにおけるガイド養成講座では、「あんぱん」効果もあり、エリアをまたいで近隣のガイド団体から参加があり、南国市と香美市で増員につながった。ガイド経験があることで即戦力にもなる。今後、ガイド数増員を図るためには、団体同士がエリアをまたいだ形で参加することも有益ではないかと考えている。7月に開催する研修会は、まさにそのような形になる予定。
- ・ レンタサイクルを利用する観光客から、高知城の敷地の中に駐輪場が無いことについて、月5回程度は、高知城観光案内所で問合せを受けることがあるので、駐輪場について検討してほしい。

**【回答】 高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ どのような対応ができるか検討するため、担当部署へ情報共有を行っている。

**【発言】 仙波委員**

- ・ 元々多かったお客さま層は、未就学児を含めたファミリー層であったが、昨年度の「あんぱん」放送以降は、シニア層、平日利用のお客さまも増加している。これまでは若年層の長期休暇が繁忙期だったが、現在は予約制をとっていることで、どの月も平均的な来館となり、ゆっくり快適にお過ごしいただけるようになっている。
- ・ 今年度は「アンパンマンミュージアム」30周年にあたって、昨年よりもアンパンマンに特化した企画を行う。アニメの声優さんにもご来館いただく予定。従来のターゲットの方にもお越しいただきたい。

**【発言】 近澤委員**

- ・ 令和6年度・7年度は、「どっぶり高知旅」の要素が強く入った、お客さまとの距離感が近い商品の造成を行ってきた。そのフォローアップをする中で、販売が伸び悩むものも見受けられる。今年度の新たな取り組みとして、インバウンド向けの商品造成にも携わっているが、その中では、お客さまにとって高知県の魅力がわかりやすいものを造成する工夫を始めている。「買いやすい」商品はつまり「売ってもらいやすい」商品につながると考えている。
- ・ よさこい高知文化祭関連の商品造成を行い、募集ツアーも実施する。「伝統工芸」や「食」を絡め、県内外の方に行ってみようと思ってもらえるように努める。

**【回答】 高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ 販売につながる商品造成について、引き続き御協力いただきたい。

**【発言】野戸委員**

- ・ 情報のスピードが速い時代。「あんぱん」から「ジョン万」につながる間の期間ではあるが、令和8年度が息抜きにならないように全力で情報発信を続けていただきたい。
- ・ 滞在延長のための取り組みとして、高知に泊まることにフォーカスして、宿泊施設の露出をしてみても良いのではないかと思う。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ 滞在延長を目標としている。今年度計画している「食」を生かした取り組みなどを、宿泊施設と連携しながら進めていく。

**【発言】野崎委員**

- ・ 「どっぶり高知旅」として扱う商品については、旅行会社向けに、そのままではなく、旅程に組み込めるようなアレンジをしながら提案している。また、一般観光だけでなく、教育旅行やMICEなど、純粋な観光ではなく来県された方にも、いかに高知を好きになっていただくか、プライベートで改めて来ていただけるかを意識して取り組んでいきたい。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ 高知のファンになっていただく取り組みを継続し、旅行会社へのセールスにも生かしたい。

**【発言】小笠原委員**

- ・ 昨年度「あんぱん」に関連する取り組みを行い、ガイドさんが活躍する商品が成功したと実感。引き続きガイド商品が売れ続けている。これからも一緒に働けるような商品を造成したい。
- ・ 物部川エリアの宿泊者数は、4月・5月の実績が対前年比約110%と好調。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ 「ものべすと」の取り組みを通じて、ガイドさんが活躍する商品が好評であることは大きな成果である。

**【発言】松田委員**

- ・ 高知の「食」について、チャンバラ貝や長太郎貝は東京では馴染みがない。日本酒とセットで広がると良いと思う。
- ・ 嶺北の山のグルメは、碁石茶をテーマにインバウンド向け商品の造成を行なっている。また、土佐あかうしや、天空の郷米、日本酒など、食のガストロノミーを活かしたセールス活動を実施する。そのためには、ガイドの育成や二次交通の問題など、検討しなければならない課題もあるので、みなさんと連携しながら進めていきたい。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ タクシーや自転車なども含めて、高知ならではの二次交通を探っていかななくてはならないと思うので、引き続き情報をいただきたい。

**【発言】久保委員**

- ・ 強風で瀬戸大橋が2日止まった影響もあり、GWの「南風」は対前年比約99%で、予定程には伸びなかったが、5月全体では対前年比約109%で良い数値。高知-窪川も好調。
- ・ 第一四半期は、テレビで高知の露出が増えたと実感している。全国区の旅番組で放送されることで、鉄道の利用促進に繋がっている。取材のご協力をさせていただき、パブリシティをしっかりと活用していきたい。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ メディアでの露出というインパクトは大事。引き続きご協力いただきたい。

**【質問】上村委員**

- ・ ガイドさんのテクニックや、これまでの知恵、経験をまとめていった方が良いのではないか。テクノロジーも活用して、満足度を上げていけるよう、高知県がサポートできないだろうか。

**【回答】森岡委員**

- ・ 基本的なシナリオがあり、ガイド一人一人が特色をつけている。
- ・ それぞれの団体によってやり方が違う。規模によってもできることが変わってくる。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ 基本的なものと、ガイドさんが蓄積したノウハウについて、勉強させてもらいたい。

**【発言】小松委員**

- ・ 造成した商品には売る責任がある。様々なセールスの機会を活用したり、旅程に組み込みやすいアレンジの提案をしてきた。さらに今年度は、SNSやインフルエンサーを活用したプロモーションを予定。
- ・ 魅力的な既存商品の掘り起こしと、造成商品を組み合わせ、新たなパッケージとして発信する視点も大事。作って終わりにせず、継続性のある展開をしていくべき。
- ・ 四万十川流域の観光素材だけに着目したものではなく、食・祭り・文化・歴史・宿泊をセットにした商品作りを実施。そのような取り組みの継続には、観光組織の強化が必要。幡多広域観光協会、四万十市観光協会の目標として取り組んでいる。

**【回答】高知県観光振興スポーツ部 小西部長**

- ・ みなさまのご理解とご協力なくして観光地の底上げにはつながらない。引き続き一緒に推進していきたい。

**閉会**

進行：高知県観光政策課 中橋課長補佐